

可被行之行之可、行之不行、必有謗難、欲聞所言者、明日可令申也、此事思慮太多、大略就康保四年例可申歟、廿六日甲寅、昨大殿被命、東宮大饗有無事、今朝以宰相申云、明日式部卿親王薨奏、二日大饗太近、亦有御服、須令申不可報行之由、而康保三年十二月廿二日、有式明親王薨奏、十七猶有東宮大饗、彼時被尋先例、承和^{○五}依芳子內親王薨、無大饗承和太子^{○恒}不宜、延喜五年有^{○中}宮東宮大饗、舊年十二月敦固親王薨、延長東宮幼少不可著御服、然而如康保定者、不因承和例、以彼因准延長例、深忌避承和例歟、康保太子已成身給異、延長例、只以傍親薨時被行大饗之例、偏所被行歟、依承和例、不可被行之由、大難申之事也、左右可在御定、伴御日記文、大殿即所被示也、仍令申其旨而已、入夜宰相來云、參大殿、以皇太后宮權大夫^{經房}令傳申、即被出逢、申子細、命云、此事未思得何爲哉、式部卿親王甚無止、彼式明親王尤劣者、今案道理、不可論勝劣、只可依等親歟、皆是二等也、總可在太閤御意者也、廿七日乙卯、大外記文、義朝臣來語^{○中}東宮大饗事未有一定、大略不可被行歟、延喜十五年十一月、恭子內親王薨、而十六年有^{○保}東宮大饗^{明太}、被行之例亦不宜、承和不被行之例、又不吉者、又云、今夜可御錫紵、無可除給之日、廿九日重日、明日坎日、吉年申云、重日有例^{三年}、坎日猶可忌避御、但今日著御日、內除御宜歟者、此間被定煩之由承之者、三十日戊午、宰相來云^{○中}東宮大饗可被行云々、經賴固陳此由、

〔小右記〕治安四年正月二日辛卯、著東宮大饗^{○中}、戊三點事訖、宰相乘車後、今夜給祿間、執喫狼藉、口上達部時、日稱物忌不可出行、仍給隨身祿^{將監二疋、將曹一疋、府生疋、緝番長信乃四段、近衛等各二段、}

〔宇治拾遺物語〕今はむかし、利仁の將軍のわか、りけると、き、そのときの一の人の御もとに、格勤して候けるに、正月に大饗せられけるに、そのかみは大饗はて、と、り、ば、み、といふものを、はらひて、いれずして、大饗のおろし米とて、給仕したる格勤のものどもの食けるなり、

〔榮花物語^{二十四}若枝〕はかなくて、萬壽二年正月になりぬ、^{○中}枇杷殿^子には、ことし大饗せさせ給